

## 講演会を開催しました！

1月22日、今年の活動初めの「講演会」を上灘コミュニティセンターで行いました。講演は倉吉市が進める「リス舍周辺再整備等」と、倉吉博物館長の「見えてきた 県立美術館の戦略」の二題でした。

倉吉市が進める再整備内容(講師:船木敏晶倉吉市企画課長、藤井一彦企画課係長)は、駐車場不足を少しでも解決し、屋根付き通路を通して美術館まで移動できるよう便宜を図るなど、身近で興味深い内容でした。参加者からは「今後の整備の進め方がよく理解できた。」「駐車場不足は、美術館来館者も悩まし続ける。重要なことなのに、早い段階での対策を検討しなければいけない事だったのではないかな」等の感想が寄せられました。

根鈴館長は、県教育委員会の取組みから感じ取られた県美の戦略を、終始エネルギーに語られ、「さながら推理小説を読んでいるようで面白かった。」等という参加者の感想がありました。



▲「いっすんぼうし」(2年生:紙版画)  
県中部小学校児童版画作品集  
「くろぼくの版画」より

## ☆お知らせ☆

### 県立美術館 イベントサポーター募集!!

(別紙参照)

①日時:3月5日(日)  
会場:米子市文化ホール  
人数:5人程度

②日時:3月21日(火祝)  
会場:倉吉未来中心  
人数:3人程度

サポーター希望者は、必ず!!

- ①事前説明会参加申込  
2月13日(月)必着
- ②事前説明会参加  
※希望者が多い場合は、抽選  
後日、担当者から連絡あり

**「既に県美の術中に」**  
倉吉博物館長が持論展開  
県民がウオーホールに  
倉吉市に開館する鳥取県立美術館の作品として購入したアンディ・ウォーホルの「フリの箱」を巡る議論について22日、倉吉博物館の根鈴雄雄館長が同市内で講演。「皆が(県美の)術中にはまっている。(関心が高まることは)県は織り込み済みだった」と持論を展開した。

根鈴館長は自身が出席した県立美術館の説明会で「トリロの箱の収集は「子どもたちが柔軟に発想を転換し、強くなかな思考を身に付けられることなど高い教育的意義を持つ」と示された」と紹介。「私の見立てだが、知事は購入を了解していたと思う。知事にとって歓迎すべき議論だった」と強調した。

県民がウオーホールに「皆が持っている」とも「皆が(購入によって)既にアートランニングに足を踏み入れている」と解説。「県美



「皆が既にアートランニングに足を踏み入れている」と分析する根鈴館長＝22日、倉吉市上灘町の上灘コミュニティセンター

《日本海新聞 1月23日 掲載記事》

## …イベントへの参加案内…

- ① 映画「アートのお値段」鑑賞会  
日時:2月12日(日) 14:00~15:30  
場所:倉吉文化活動センター第一活動室
- ② キュレーターズ・キャラバンレクチャー  
日時:2月23日(木祝)) 14:00~16:00  
場所:県立博物館 講堂
- ③ 美術館開館2年前カウントダウンイベント  
米子会場 日時:3月5日(日)米子文化ホール  
倉吉会場 日時:3月21日(火祝)倉吉未来中心

の収集方針が見えてきたことと倉吉博物館も色を出しやすくなった」とし、人間

国屋・故大坂弘道氏の木工芸作品などこれまで培ってきたものを大切に県美と連携したいと話した。同館をより立たいと県民で組織する「とっとり県美応援団」が研修の一環として開催。会員を含む35人が参加した。(加藤祥代)

「こまった おに」(2年生) 県中部小学校児童版画作品集  
「くろぼくの版画」より



(参照:添付ファイル) 参加される場合は、各自で会場へお出かけ下さい。